

第1部

平成25年度
第1回市民意見交換会

高山西高等学校生徒によるディベート



8月31日に高山市役所地下市民ホールにおいて「平成25年度第1回市民意見交換会」を開催し、会場には多くの方にお越しいただきました。

今回の市民意見交換会は2部構成で開催し、第1部では高山西高等学校生徒によるディベート、第2部では参加された皆さんと議員との意見交換会を行いました。

今回の意見交換会では、若者の声を市政に反映させたいとの思いの中で、ディベートという手法によって、若者の視点から、高山市の魅力と課題を浮き彫りにすることを目的として開催しました。

ディベートについては高山西高等学校の全面的な協力をいただき、開催させていただきました。夏休み期間や体育祭の準備等で多忙な中での協力に感謝申し上げます。

高山市がすき？きらい？

【すきチーム】

すきチームの立論

メリット1

自然環境の良さ

現状分析1

北アルプス山系、御岳、白山山系に取り囲まれ、高山（こうさん）でなければあり得ない野生生物・国天然記念物ライチョウetc.

重要性1

多くの高山市民が、自分たちの自然環境に「誇り」「愛着」を感じている。

重要性2

豊かな自然、空気がきれい、排気ガスも少なく住みやすい。

メリット2

犯罪の少なさ

重要性

高山市民は、安心・安全に生活できる。



【きらいチーム】

きらいチームの立論

デメリット1

過疎化（人口の減少・少子高齢化）

深刻性1

若者の流出により労働人口が減少↓若い力が減少↓企業、地域に活気がなくなる↓流出が進む（悪循環により、周辺地域から、どんどん限界集落化してきている）

深刻性2

若者の減少↓出生数の減少↓高齢化率の増加 まちに活気がなくなる

デメリット2

給与水準が低い

深刻性1

低い年取、住宅家賃等物価の高さで若者が高山に帰ってくる魅力が乏しい。

深刻性2

経済成長が見えてこない。魅力のある都市には人は流出してしまう。



すきチームは高山市の自然環境の良さや犯罪の少なさを高山市のメリットとして立論し、きらいチームは過疎化や給与水準の低さから魅力がなくなっているというデメリットを立論しました。

両チームとも的確な資料の分析に基づき、しっかりとした立論が組み立てられていました。

また、お互いの立論に対する質疑、反駁（はんばく）においても、堂々と自らの意見を主張する姿勢には来場者からも感心する声が聞こえました。

今回のディベートは「高山市がすき？きらい？」という難しいテーマ設定であり、個人的な思いではなく、与えられた立場で論理的に組み立てることによって、高校生からみた高山市の魅力と課題が浮き彫りになりました。



ディベートとは

定められた論題について肯定派と否定派にわかれ、一定のルールの下に議論をするゲームです。今回は高山市がすきチームと、高山市がきらいチームに分かれてそれぞれの立論（主張）に対し、質疑、反駁（はんばく：相手の主張に対する反論）、そして、お互いの主張に対するバトルが繰り広げられました。